

## ● がん患者の就労を含む社会的な問題

	施策 (手段)	アウトプット指標 (手段の達成度を見るものさし)
1	事業所内での 就業の 支援策 (各社)	職場 園工 作り
2		
3	事業所内 医療機関の相談 窓口を充実させる (連携充実)	就業支援の相談 窓口の充実
4	労務と健康 に力を入れる	
5		
6	労働者のスキル 向上を 支援する	
7	働く方、休む方 の選択の幅を 増やす	
8		
9	患者が自らの仕事 や生活の場、社会 生活の場を 充実させる	

中間アウトカム (中間成果)	指標
治療にかかる長期的経済負担が軽減されている	がん患者の費用負担額
	費用負担が原因で公的医療保険内の治療を変更・断念した人の割合
	「治療のために貯金・資産の取り崩しや借金をした」と回答した患者の割合
◆がん患者、患者家族が働き続けられるような事業者側の体制が整っている	がん治療後に復職希望し、復職した人の割合
	治療後に新規就労希望をし、新規就労した人の割合
	治療中、勤務先による治療と就労の両立支援がなされている、と感じた者の割合
*がんによる偏見・差別が減少している	「家族以外の身近な第三者に、がんであることを話している」と回答した患者の割合
	「がんであることを理由に、偏見や差別を感じたことがある」と回答した患者・家族の割合

分野アウトカム (分野別成果)	指標
	「がんになっても安心して働き暮らせる社会が構築されている」
	「がんと診断されたことを理由に、経済面での不安が増した」と回答した患者の割合
	*「社会とのかかわりの中で生活できている」と回答した患者の割合

【ワーク用のアウトカムと指標の作成方法(説明)】  
国の第2期がん対策推進基本計画とその進捗管理指標一覧をもとに、インターネット上で公開されている都道府県のがん対策ロジックモデルの内容も参考にし、事務局でマップ化を試みた。指標については数が多いため、今回のワーク用として、包括性の高い指標を選択して記載

\*は、ロジックモデルのバランスの補完の観点から、事務局にて追加

患者が自らの仕事や生活の場、社会生活の場を充実させる